



# 町長日誌

## No.231

町長日誌の第231号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

### 1月24日 (火曜日) AM9:30

今年最初の町長日誌です。今年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、先週16日(月)に体調不良となり、翌日朝検査をしたところコロナ陽性となったため療養生活となり本日から復帰となりました。これまで、感染しないことを自慢し続けていた私でしたが、ついに感染者となりました。しかも65歳以上と言うことで保健所から連絡があり道庁が委託している「陽性者生活支援センター」と言う処から毎日安否確認の電話が来ます。また、17日(火)には佐川急便に委託している「オキシメーター」が送られてきました。これは指を挟んで血中酸素濃度と心拍数が表示される医療機器ですが、この機器で毎日測定し報告しなければならないのです。私の場合、症状は39度の発熱と咳と倦怠感でした。発熱は三日ほどで下がりましたが咳は今も続いています。病院への電話診療に始まり、調剤薬局からの連絡、保健所からの連絡、そして支援センターと携帯電話のお陰でとても便利なのですが、体調の悪い時の電話でのやり取りはかなり体力が必要だと感じました。家族がいても感染を考え出来るだけ接触しないようにするので、今回の体験を通じて考えさせられることが多かったです。それともう一つ、暮れの停電時のように携帯電話が通じない場合もあり得ます。そんな時に感染した方の連絡や安否確認をどのようにすれば良いのか？災害対策の一つに加えて検討したいと考えています。いずれにしてもご迷惑をお掛けしました。

### 1月17日 (火曜日)

町内在住68歳の男性(Sさん)からお手紙を頂きました。

Sさんは「人口減少に歯止めを掛けてほしい！」そのためには、「外国人を様々な産業で受け入れるなど、町全体で担い手や後継者対策に取り組んでほしい。」また、「高齢者の単身世帯が増え泉町や緑ヶ丘の平屋の公営住宅に住んでいる人が多いが老朽化で寒く、除雪した雪を遠くに運ばなければならないので大変だ。」「特に去年のような大雪の時はベランダ側に雪がたまり暗くなってしまうので除雪を支援してほしい。」とおおよそこの様な内容のご意見や要望でした。

人口減少は大きな課題で、特にこの2年間出生数も半減に近い状況です。これは全国的な動向ですが、町としてもお店や企業などで働く人の確保は大きな悩みです。西興部村の施設での虐待などもこの人手不足に誘因があると言われています。すぐに答えは出ませんが企業任せでは解決できない課題ですから町全体として雇用確保の体制づくりを考えたいと思っています。泉町や緑ヶ丘の平屋公住は将来的に取り壊し新しくしていく考えです。今年度まで民間賃貸住宅の建設支援を行い48戸建設してきましたが、低家賃の住宅、特に高齢者の住まいを現在計画しています。除排雪については今後建設時に大事な視点として考えなければいけないと思いました。特別な大雪の時は町としても対応します。また、隣が空き家の場合もありますのでこの時は町で対応したいと思います。

Sさんのご要望全てにお答えできませんでしたが、お手紙をよく読ませていただきこれからのまちづくりに役立たせていただきたいと思います。お手紙ありがとうございました。

昨年暮れの重たい雪の被害は高圧送電鉄塔の倒壊を招き、2度の停電被害が発生しました。暖かったことが幸いでしたがその暖かさが湿った重い雪の被害を増大させたことも確かです。電力の復旧は早かったのですが光ケーブルや電話線の断線は想像以上に甚大で、復旧に時間を要しました。Wi-Fiが使えず海外から来られている研修生が母国と連絡が取れないというような問題にも繋がるのが判りました。現在、細いケーブルを電柱に点がして情報送信をおこなっていますが、国を挙げて情報社会だ、IT化だと「利便性」を追求した社会を作ろうとしています。便利なものの「弱さ」を私たちはしっかり考えていきたいと思っています。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。